



平成18年10月31日

各位

会社名 星光PMC株式会社
代表者名 代表取締役社長 乗越 厚生
(コード番号 4963 東証二部)
問合せ先 取締役管理本部長 伊佐木 融
(TEL. 03-6202-7331)

中間期業績予想の修正に関するお知らせ

平成18年5月10日の決算発表時に公表した平成19年3月期(平成18年4月1日～平成19年3月31日)の中間期業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成19年3月期 中間業績予想数値の修正 (平成18年4月1日～平成18年9月30日)

(1) 連結業績予想値の修正 (単位: 百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	12,150	470	270
今回修正予想(B)	11,694	354	211
増減額(B-A)	△456	△116	△59
増減率(%)	△3.8	△24.7	△21.9
(ご参考) 前期(平成18年3月期中間)実績	11,685	889	634

(2) 単体業績予想値の修正 (単位: 百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	8,800	540	360
今回修正予想(B)	8,306	354	221
増減額(B-A)	△494	△186	△139
増減率(%)	△5.6	△34.4	△38.6
(ご参考) 前期(平成18年3月期中間)実績	8,368	696	535

2. 修正の理由

(1) 連結業績予想

当社の連結売上高の約70%を占める製紙用薬品事業において、新規の需要拡大に伴う販売増を見込んだ分野で、需要拡大が見込み通り進展いたしませんでした。また、原料価格の高騰に伴う製品価格の修正を鋭意進めましたが、需要家の抵抗が強く、販売価格修正を計画通り進めることが出来ませんでした。以上の理由により、製紙用薬品事業の収益が計画値を下回ったことが、連結業績予想の下方修正の主たる理由であります。

(2) 単体業績予想

当社の単体決算の売上高は、全て製紙用薬品事業によるものであり、上記連結業績予想の修正の理由と同様に、製紙用薬品事業の収益が計画値を下回ったことが、単体業績予想の下方修正の主たる理由であります。

なお、通期の業績予想につきましては、現在見直しを行っており、業績見込みが確定次第発表させていただきます。

※この業績予想につきましては、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものでありますので、実際の業績は今後様々な要因によって予想値と異なる可能性があることをご承知おきください。

以 上